

成果指標



川南町立**川南**小学校



川南町立**唐瀬原**中学校



川南町立**通山**小学校



川南町立**国光原**中学校



川南町立**東**小学校



各学校のホームページは、主に校長先生や教頭先生が担当
学校の様子・取組・学校だよりなどを発信 リンクの充実
県内外から移住・定住を検討されている方の判断材料にも



川南町立**多賀**小学校



川南町教育委員会

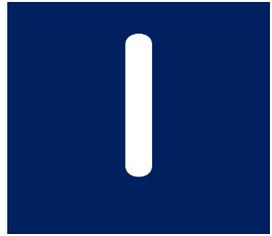


川南町立**山本**小学校



川南町教育大綱
(教育振興基本計画)





全国学力・
学習状況調査
児童生徒質問

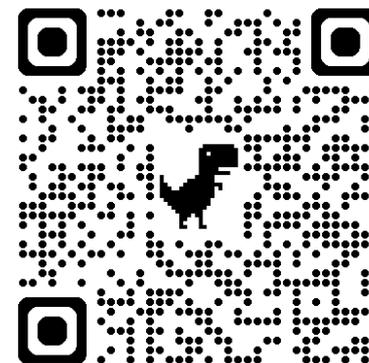
令和6年度全国学力・学習状況調査の調査問題・正答例・解説資料について

<https://www.nier.go.jp/24chousa/24chousa.htm>



[TOP](#) > [全国学力・学習状況調査](#) > [令和6年度全国学力・学習状況調査の調査問題・正答例・解説資料について](#)

令和6年度全国学力・学習状況調査の調査問題・正答例・解説資料について



令和6年4月18日に実施した「令和6年度全国学力・学習状況調査」の調査問題、正答例、解説資料について公開します。

○教科に関する調査

小学校	国語	調査問題 (PDF/384KB)	正答例 (PDF/35KB)	解説資料 (PDF/6.35MB)
	算数	調査問題 (PDF/663KB)	正答例 (PDF/46KB)	解説資料 (PDF/6.09MB)
中学校	国語	調査問題 (PDF/600KB)	正答例 (PDF/142KB)	解説資料 (PDF/6.33MB)
	数学	調査問題 (PDF/242KB)	正答例 (PDF/56KB)	解説資料 (PDF/6.56MB)

○質問調査

小学校	児童質問調査 (PDF/282KB)
	学校質問調査 (PDF/372KB)

中学校	生徒質問調査 (PDF/280KB)
	学校質問調査 (PDF/381KB)

「学びに向かう力、人間性等」

No.	質問項目	小学校			中学校		
		町 平均	県 平均	全国 平均	町 平均	県 平均	全国 平均
		前年比	町比較	町比較	前年比	町比較	町比較
9	自分には、よいところがあると思いますか。	会議で表示					
11	将来の夢や目標を持っていますか。						
25	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。						

「学びに向かう力、人間性等」

学校数

No.	質問項目	全国 平均以上	県 平均以上	町 平均以上	全国・県・町 平均以下
9	自分には、よいところがあると思いますか。	<p>会議で表示</p>			
11	将来の夢や目標を持っていますか。				
25	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。				

「主体的・対話的で深い学び」

No.	質問項目	小学校			中学校		
		町 平均	県 平均	全国 平均	町 平均	県 平均	全国 平均
		前年比	町比較	町比較	前年比	町比較	町比較
30	5年生まで（中：1、2年生のとき）に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。						
33	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。						
34	学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか						



会議で表示

「主体的・対話的で深い学び」

学校数

No.	質問項目	全国 平均以上	県 平均以上	町 平均以上	全国・県・町 平均以下
30	5年生まで（中：1、2年生のとき）に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。	<p>会議で表示</p>			
33	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。				
34	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。				

2

全国学力・
学習状況調査
学校質問

学校運営に関する状況／教職員の資質向上に関する状況

学校数

No.	質問項目	チェック欄		
小 11 中 11	ICTを活用した 校務の効率化 （事務の軽減）の優良事例を十分に取り入れていますか ※ 優良事例としては、例えば「全国の学校における働き方改革事例集（改訂版）（令和4年2月文部科学省）」や、「StuDX Style（スタディーエクススタイル）ウェブサイト（文部科学省HP）」で取り上げられているICTを活用した取組例などを参照してください。	1 十分に取り入れている	2 一部取り入れている	3 全く取り入れていない
12 12	指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた 横断的な視点 で、その目標の達成に必要な教育の内容を 組織的に配列 していますか	<p>会議で表示</p>		
14 14	指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、 地域等の外部の資源 を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか			
17 17	児童〔生徒〕自ら学級やグループで 課題を設定 し、その解決に向けて 話し合い、まとめ、表現する などの学習活動を学ぶ 校内研修 を行っていますか			
24 24	ストレスチェックの結果の活用や研修など、 教職員自身の心身の健康状態 につき振り返り対処する機会が提供されていると思いますか			

主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

No.	質問項目	チェック欄			
		1 そう思う	2 どちらかといえば、そう思う	3 どちらかといえば、そう思わない	4 そう思わない
25 25	調査対象学年の児童〔生徒〕は、授業では、課題の解決に向けて、 自分で考え、自分から取り組む ことができていると思いますか				
26 26	調査対象学年の児童〔生徒〕は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、 資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行う ことができていると思いますか				
29 29	調査対象学年の児童〔生徒〕は、授業では、 自分で学ぶ内容を決め、計画を立てて学ぶ活動 を行っていると思いますか				
35 35	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、 各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かす ことができるような機会を設けましたか				

会議で表示

ICTを活用した学習状況

No.	質問項目	チェック欄				
		1 ほぼ毎日	2 週3回以上	3 週1回以上	4 月1回以上	5 月1回未満
56 60	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、児童〔生徒〕一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか	<p>会議で表示</p>				
58 62	調査対象学年の児童〔生徒〕が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、児童〔生徒〕一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか					
61 65	調査対象学年の児童〔生徒〕が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面では、児童〔生徒〕一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか					
64 68	児童〔生徒〕一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか					

学習評価

No.	質問項目	チェック欄			
40	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、創意工夫の中で学習評価の妥当性や信頼性が高められるよう、 評価規準や評価方法の教員間での明確化・共有化 や、学年会や教科等部会等の校内 組織の活用 等、組織的かつ計画的な取組をしましたか	1 よく行った	2 どちらかといえば、行った	3 あまり行わなかった	4 全く行わなかった
40		会議で表示			

特別支援教育

No.	質問項目	チェック欄			
67	学校の教員は、 特別支援教育 について理解し、前年度までに、調査対象学年の児童〔生徒〕に対する授業の中で、児童〔生徒〕の 特性に応じた指導上の工夫 （板書や説明の仕方、教材の工夫等）をどの程度行いましたか	1 よく行った	2 どちらかといえば、行った	3 あまり行わなかった	4 全く行わなかった
71		会議で表示			

小学校教育と中学校教育の連携

No.	質問項目	チェック欄			
68 72	前年度までに、 近隣等の中学校〔小学校〕 と、教科の教育課程の接続や、教科に関する 共通の目標設定等 、教育課程に関する 共通の取組 をどの程度行いましたか	1 よく行った	2 どちらかといえば、行った	3 あまり行わなかった	4 全く行わなかった
会議で表示					

家庭や地域との連携等

No.	質問項目	チェック欄			
70 74	コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、 学校と地域や保護者の相互理解 は深まりましたか	1 そう思う	2 どちらかといえば、そう思う	3 どちらかといえば、そう思わない	4 そう思わない
会議で表示					

家庭学習

No.	質問項目	チェック欄			
72 76	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、家庭学習について、児童〔生徒〕が 自分で学ぶ内容や学び方を決めるなど 、 工夫 して取り組めるような活動を行いましたか	1 よく行った	2 どちらかといえば、行った	3 あまり行わなかった	4 全く行わなかった
会議で表示					

調査結果の活用

No.	質問項目	チェック欄			
74 78	令和5年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、 学校全体で教育活動を改善 するために活用しましたか	1 よく行った	2 行った	3 ほとんど行わなかった	
会議で表示					
75 79	全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における 独自の学力調査の結果と併せて分析 し、 具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映 をどの程度行っていますか	1 よく行っている	2 どちらかといえば、行っている	3 ほとんど行っていない	4 地方公共団体における独自の学力調査を実施していない
会議で表示					

3

GIGAスクール構 想の下での校務 DXチェックリスト ～学校の自己 採点結果～

「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」に基づく自己点検結果の報告について



会見・報道・お知らせ

政策・審議会

白書・統計・出版物

[トップ](#) > [教育](#) > [小学校、中学校、高等学校](#) > [GIGAスクール構想の実現について](#) > [学校におけるICT環境の整備・運用について](#) > 「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」

「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」に基づく自己点検結果の報告について

「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」に基づく自己点検の結果及び学校向けヒアリングの結果をとりまとめるとともに、一部項目

「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」(令和5年度)に基づく自己点検結果(確定値)

- 「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」に基づく自己点検結果(確定値)の公表について(通知)(PDF:136KB) 
- 【別紙1】「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」学校・教育委員会の自己点検結果総括(PDF:564KB) 
- 【別紙2】自治体別「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト(学校向け)」達成状況(PDF:448KB) 
- 【別紙3】自治体別「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト(学校設置者向け)」達成状況(PDF:436KB) 
- 【別紙4】「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト(学校向け)」自治体別回答(PDF:2.1MB) 
- 【別紙5】「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト(学校設置者向け)」自治体別回答(PDF:937KB) 

「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」に基づく自己点検の結果及び学校向けヒアリングの結果をとりまとめるとともに、一部項目の全国の取組状況を可視化するダッシュボードを公開しました。

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/mext_02597.html

「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト（学校向け）」

自治体別達成状況

〔確定値〕

各学校の回答について、項目ごとの達成状況に応じて点数を割り振り、各項目で校務DXが最も達成されている状態を30点、計34項目1020点満点で換算し、域内の学校の点数の平均値を各設置者の平均得点として整理した。

- ✓ 各選択肢の配点は以下の通り。
 - 2択の項目：0点、30点
 - 4択の項目：0点、10点、20点、30点
 - 6択の項目：0点、6点、12点、18点、24点、30点
- ✓ 今回の調査結果は各学校が文部科学省WEB調査システム“EduSurvey”に入力した自己点検結果をそのまま集計したもの。各回答項目の選択肢を選ぶに当たっての判断は各学校に任されており、文部科学省では回答の精度を確認する等のデータクリーニングは行っていない。また、自治体によっては域内の学校がごく少数であるために1校の回答が結果に大きく影響を与えている。そのため大まかな傾向はつかめるものの、自治体間の結果を単純比較できるものではない。また、ネットワークや端末、関係規則などが十分に整備されていない等、学校だけで直ちに改善が難しい項目もある。こうしたことを前提に、各自治体・各学校においては、本調査の結果を単純比較に用いるのではなく、校務DXの改善に活かすツールとして活用いただきたい。
- ✓ 本資料は令和6年2月28日正午までに“EduSurvey”に入力されたデータを元に集計を行っている。

会議で表示

1. 全国の校務DXの取組状況

各項目に関する詳細な説明は[データの定義](#)をご覧ください。

全国の校務DXの取組状況



会議で表示



3. 市区町村ごとの校務DXの取組状況

各項目に関する詳細な説明は[データの定義](#)をご覧ください。

市区町村ごとの校務DXの取組状況

都道府県

宮崎県

デジタル化状況

完全にデジタル化

文部科学省

	学校設置者	
▲	学校の数	
教員と保護者間の連絡のデジタル化	欠席・遅刻・早退連絡	
	お便りの配信	
	調査・アンケートの実施	
学校内の連絡のデジタル化	校内での資料共有	
	校内での情報共有	
	調査・アンケートの実施	
教員と児童生徒間の連絡等のデジタル化	各種連絡の廃止	
	調査・アンケートの実施	
その他	FAXの原則廃止	
	押印・署名の原則廃止	

会議で表示

※「校内での情報共有」「FAXの原則廃止」「押印・署名の原則廃止」の割合は、「完全にデジタル化」「半分以上デジタル化」に関わらず、「実施済」の割合を表しています。

※101件以上の市区町村を表示できないため、北海道は道北、道東、道央、道南に分割しています。

2024年2月時点の数値

市区町村ごとの校務DXの取組状況

都道府県

宮崎県

デジタル化状況

半分以上がデジタル化

文部科学省

	学校設置者	会議で表示
▲	学校の数	
教員と保護者間の連絡のデジタル化	欠席・遅刻・早退連絡	
	お便りの配信	
	調査・アンケートの実施	
学校内の連絡のデジタル化	校内での資料共有	
	校内での情報共有	
	調査・アンケートの実施	
教員と児童生徒間の連絡等のデジタル化	各種連絡の廃止	
	調査・アンケートの実施	
その他	FAXの原則廃止	
	押印・署名の原則廃止	

※「校内での情報共有」「FAXの原則廃止」「押印・署名の原則廃止」の割合は、「完全にデジタル化」「半分以上デジタル化」に関わらず、「実施済」の割合を表しています。

※101件以上の市区町村を表示できないため、北海道は道北、道東、道央、道南に分割しています。

2024年2月時点の数値

教職員と保護者間の連絡のデジタル化

No.	質問項目	具体のイメージ、期待される効果等	チェック欄			
1	<p>児童生徒の欠席・遅刻・早退連絡について、クラウドサービスを用い、PC・モバイル端末等から受け付け、学校内で集計していますか。</p>	<p>児童生徒からはアクセスできない環境で汎用クラウドツール(例:フォーム、Forms)等を活用することにより、朝の忙しい時間の電話や連絡ノートの提出が不要となり保護者の満足度が向上するとともに、集計や連絡にかかる教職員の負担も大きく減ることが期待できる。 ※1人1台端末を利用して連絡を受け付ける場合、児童生徒と同じアカウントを用いると、児童生徒自らが入力してしまうことが想定されるため、保護者アカウントの発行等保護者のみができる環境を整える必要がある。</p>	完全にデジタル化している	一部している(半分以上)	一部している(半分未満)	全くしていない
<p>会議で表示</p>						
2	<p>業務時間外の保護者からの問い合わせや連絡事項について、クラウドサービスを用い、PC・モバイル端末等から受け付ける体制を整えていますか。</p>	<p>業務時間外の保護者からの問い合わせや連絡を電話ではなく汎用クラウドツール(例:グループウェア)等を活用して受け付けることにより、保護者が都合の良いタイミングで連絡することが可能となり、保護者の満足度が向上するとともに、教職員は業務時間内に内容を確認・対応することができ、教職員の負担軽減が期待できる。</p>	整えている		整えていない	
<p>会議で表示</p>						
3	<p>学校から保護者へ発信するお便り・配布物をクラウドサービスを用いて一斉配信していますか。</p>	<p>汎用クラウドツール(例:グループウェア)等を活用して各種お便り、給食の献立表、文房具・教材等の注文書、関係機関からのお知らせ等を一斉配信することにより、保護者はお便りをスマートフォン等各種端末から都合の良いタイミングで読むことができ、連絡物の紛失、渡し忘れもなくなり満足度が向上する。印刷コストや印刷・配布にかかる時間や手間も省けて教職員の負担が軽減するとともに、写真やカラーの活用、QRコードや動画埋め込み等も可能となることが期待できる。</p>	完全にデジタル化している	一部している(半分以上)	一部している(半分未満)	全くしていない
<p>会議で表示</p>						

教職員と保護者間の連絡のデジタル化

No.	質問項目	具体のイメージ、期待される効果等	チェック欄			
4	保護者から学校への 提出資料 をクラウドサービスを用い、 受け付けて いますか。	汎用クラウドツール(例:フォーム、Forms)等を活用し、 家庭環境調査票、各種同意書(1人1台端末の利用同意書、写真使用同意書、移動教室同意書、PTA委任状等)、各種申込書(放課後教室申込書、教材任意購入申込書等)、児童生徒の健康診断のための保健調査票等をデジタル化 することで書類の紛失、渡し忘れもなくなり保護者の満足度向上、負担軽減につながるとともに、回収にかかる時間が大幅に短縮され、教職員の負担軽減が期待できる。	完全にデジタル化している	一部している(半分以上)	一部している(半分未満)	全くしていない
			会議で表示			
5	保護者への 調査・アンケート等 をクラウドサービスを用いて 実施・集計 していますか。	汎用クラウドツール(例:フォーム、Forms)等を利用して、 学校評価アンケート等をデジタル化 することで書類の紛失、渡し忘れもなくなり保護者の満足度向上、負担軽減につながるとともに、集計にかかる時間が大幅に短縮され、教職員の負担軽減が期待できる。	完全にデジタル化している	一部している(半分以上)	一部している(半分未満)	全くしていない
			会議で表示			
6	保護者との 日程調整 をクラウドサービスを用いて行っていますか。	汎用クラウドツール(例:フォーム、Forms、カレンダー)等の活用により、保護者面談、三者面談、家庭訪問等の 日程調整に係る教職員・保護者双方の手間を大きく軽減 し、教職員の働き方改革や保護者満足度の向上につながることが期待できる。	完全にデジタル化している	一部している(半分以上)	一部している(半分未満)	全くしていない
			会議で表示			

教職員と保護者間の連絡のデジタル化

No.	質問項目	具体のイメージ、期待される効果等	チェック欄				
			完全にオンライン化している	一部取り入れている(半分以上)	一部取り入れている(半分未満)	全く取り入っていない	
7	学校説明会や保護者面談などにオンライン形式を取り入れていますか。	汎用クラウドツール(例:Meet、Teams、FaceTime)等を活用して集合に依らない説明会や面談を行うことで、紙での会議資料等の印刷・帳合・配付等の作業、会場の設営や受付業務が不要となり、教職員の負担軽減が期待できる。					会議で表示
8	学校徴収金について、現金徴収ではなく、口座振替、インターネットバンキング等を活用して徴収金の徴収を行っていますか。	口座振替、インターネットバンキング等を通じて教材費、修学旅行経費等の徴収金の徴収をデジタル化することにより、徴収金の紛失が防げるとともに徴収の手間が大きく省け、教職員の負担軽減が期待できる。 ※本チェックリストにおける学校徴収金とは、学校給食費、教材費、校外活動費、芸術鑑賞費、調査関係経費(学力・体力診断)、学年・学級活動費、児童生徒会費、修学旅行費、入学時一括購入品、卒業諸費、スポーツ振興センター掛金、部活動費、PTA会費など、学校教育活動上必要となる経費として児童生徒及び保護者から徴収する経費のことを指す。					会議で表示
8-2	(一部している・完全にデジタル化している場合)どのような学校徴収金を現金徴収以外の方法で徴収していますか。(複数選択可)	(選択肢:学校給食費/教材費/校外活動費/芸術鑑賞費/調査関係経費(学力・体力診断)/学年・学級活動費/児童生徒会費/修学旅行費/入学時一括購入品/卒業諸費/スポーツ振興センター掛金/部活動費/PTA会費)					
8-3	(一部している、完全にデジタル化している場合)学校徴収金の徴収にどのようなツールを活用していますか。(複数選択可)	(選択肢:インターネットバンキング/コード決済システム/口座振替/その他)					

教職員と保護者間の連絡のデジタル化

No.	質問項目	具体のイメージ、期待される効果等	チェック欄					
9	<p>児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、家庭で利用できるようにしていますか。</p>	<p>1人1台端末を児童生徒が家庭で利用できるようにすることで、児童生徒への各種連絡や宿題・家庭学習・課題の作成・採点のデジタル化等が可能となり、教職員の負担軽減が期待できる。</p>	<p>毎日持ち帰って、毎日利用させている</p>	<p>毎日持ち帰って、時々利用させている</p>	<p>時々持ち帰って、時々利用させている</p>	<p>臨時休業等の非常時のみ、持ち帰るとしている</p>	<p>持ち帰らせていない</p>	<p>持ち帰ってはいけないとしている</p>
<p>会議で表示</p>								
10	<p>児童生徒への各種連絡をクラウドサービスを用いて配信していますか。</p>	<p>汎用クラウドツール(例:グループウェア)等を活用し、時間割、テスト範囲等の共有をデジタル化することで、児童生徒が連絡物を紛失することがなくなるとともに印刷コストや印刷にかかる時間も省け、教職員の負担軽減が期待できる。</p>	<p>完全にデジタル化している</p>	<p>一部している(半分以上)</p>	<p>一部している(半分未満)</p>	<p>全くしていない</p>		
<p>会議で表示</p>								
11	<p>児童生徒への調査・アンケート等をクラウドサービスを用いて実施・集計していますか。</p>	<p>汎用クラウドツール(例:フォーム、Forms)等を利用し、いじめ状況調査、健康観察等をデジタル化することで印刷コストや印刷・配布・回収・集計にかかる時間も省け、教職員の負担軽減が期待できる。</p>	<p>完全にデジタル化している</p>	<p>一部している(半分以上)</p>	<p>一部している(半分未満)</p>	<p>全くしていない</p>		
<p>会議で表示</p>								

教職員と児童生徒間の連絡等のデジタル化

No.	質問項目	具体のイメージ、期待される効果等	チェック欄			
12	宿題(学期中のもの)をクラウドサービスやデジタルドリル教材を用いて実施・採点していますか。	汎用クラウドツール(例:フォーム、Forms)等やデジタルドリル教材等を利用し、日々の宿題・家庭学習・課題等の作成や採点をデジタル化することで印刷コストや印刷・配布・回収・集計にかかる時間も省け、教職員の負担軽減が期待できる。	完全にデジタル化している	一部している(半分以上)	一部している(半分未満)	全くしていない
会議で表示						
13	宿題(長期休暇中)をクラウドサービスやデジタルドリル教材を用いて実施・採点していますか。	汎用クラウドツール(例:フォーム、Forms)等やデジタルドリル教材等を利用し、長期休暇中の宿題・家庭学習・課題等の作成や採点をデジタル化することで印刷コストや印刷・配布・回収・集計にかかる時間も省け、教職員の負担軽減が期待できる。	完全にデジタル化している	一部している(半分以上)	一部している(半分未満)	全くしていない
会議で表示						
14	クラウドサービスを活用し、授業中の小テスト等にCBTを取り入れていますか。	汎用クラウドツール(例:フォーム、Forms)等やデジタルドリル教材、MEXCBT等を利用し、小テストや単語テストの作成や採点をデジタル化することで印刷コストや印刷・配布・回収・集計にかかる時間も省け、教職員の負担軽減が期待できる。	取り入れている		取り入っていない	
会議で表示						
15	クラウドサービスを活用し、定期テスト等にCBTを取り入れていますか。	汎用クラウドツール(例:フォーム、Forms)等やデジタルドリル教材、MEXCBT等を利用し、小テストや単語テストの作成や採点をデジタル化することで印刷コストや印刷・配布・回収・集計にかかる時間も省け、教職員の負担軽減が期待できる。	取り入れている		取り入っていない	
会議で表示						

学校内の連絡のデジタル化

No.	質問項目	具体のイメージ、期待される効果等	チェック欄			
16	職員会議等の資料をクラウド上で共有しペーパーレス化していますか。	クラウド上で資料を配布・保存することにより、印刷・帳合・配布の手間や各自でのファイリングも不要となり、さらにいつでも必要なときに参照できることで、教職員の負担軽減及び業務の質向上が期待できる。	完全にペーパーレス化している	一部している(半分以上)	一部している(半分未満)	全くしていない
			会議で表示			
17	職員会議等における検討事項について、クラウドサービスを用いて事前に情報共有し、あらかじめ意見を求めていますか。	汎用クラウドツール(例:グループウェア)等で事前に資料を共有し、各自の都合がつく時間に事前に目を通したり、共同編集機能によりコメントや意見を出すことにより、時間の有効活用や会議時間の短縮が期待できる。	毎回求めている	一部求めている(半分以上)	一部求めている(半分未満)	全く求めている
			会議で表示			
18	職員会議等をハイブリッド(対面・オンライン)で実施していますか。	在宅勤務や出張時等場所を選ばず参加が可能となることに加え、会議内容を録画しておけば、後日見るなどして議論に追いつくなど、教職員の働き方改革につながる事が期待できる。	完全にハイブリッド化している	一部している(半分以上)	一部している(半分未満)	全くしていない
			会議で表示			
19	教職員間の情報共有や連絡にクラウドサービスを取り入れていますか。	汎用クラウドツール(例:チャット、グループウェア)等を用いることにより、隙間時間を含む各自の都合の良いタイミング(非同期)での意見交換や迅速な情報共有が学校内外を問わず可能となり、教職員間のコミュニケーション活性化が期待できる。	取り入れている		取り入っていない	
			会議で表示			
20	学校内外の行事日程、施設や特別教室の利用予約等について、クラウドサービスを使って共有し、いつでも確認できるようにしていますか。	汎用クラウドツール(例:カレンダー)等を使って、学校内外の行事日程、施設予約等について、時間・場所を問わず、入力・編集・確認ができ、教職員間で共有できるようにすることで、業務の効率化が期待できる。	完全にデジタル化している	一部している(半分以上)	一部している(半分未満)	全くしていない
			会議で表示			

学校内の連絡のデジタル化

No.	質問項目	具体のイメージ、期待される効果等	チェック欄			
21	教職員が作成した 教材等 をクラウド上で 共有 し活用していますか。	汎用クラウドツール(例: 掲示板、チャット、グループウェア、オンラインストレージ)等を活用し、教職員間での 教材等の共有・共用 を通して、教職員ごと、 年度ごとに新たに作成する資料の数 が削減されることで教職員の負担軽減が期待できる。	必要な資料はすべて共有している	一部している(半分以上)	一部している(半分未満)	全くしていない
			会議で表示			
22	授業研究会や校内研修等を ハイブリッド (対面・オンライン)で実施していますか。	授業研究会、校内研修、校務分掌の会議、学校行事関連の会議に オンライン参加可能 とすることで、場所を選ばず参加が可能となり、教職員の働き方改革につながる事が期待できる。	完全にハイブリッド化している	一部している(半分以上)	一部している(半分未満)	全くしていない
			会議で表示			
23	校内研修について、 オンデマンド視聴 を取り入れていますか。	研修動画のアーカイブ化により 時間・場所を選ばず受講が可能 となり、研修の参加率及び研修効果が向上するとともに、教職員の働き方改革につながる事が期待できる。その際、独立行政法人 教職員支援機構(NITS) や StuDXStyle の 研修動画 を活用することも考えられる。 【参考】独立行政法人教職員支援機構Website(https://www.nits.go.jp/materials/) 【参考】StuDXStyle(https://www.mext.go.jp/studxstyle/)	取り入れている		取り入れていない	
			会議で表示			
24	授業研究会や校内研修等での 協議 にクラウドサービスを用いていますか。	授業研究会、校内研修、校務分掌の会議、学校行事関連の会議における意見交換や反省に チャット機能 や 付箋ソフト を用いたり、 共同編集機能 を活用し、 児童生徒の学びと相似形の研修を実現 することで、研修効果向上及び授業改善が期待できる。	取り入れている		取り入れていない	
			会議で表示			

学校内の連絡のデジタル化

29

No.	質問項目	具体のイメージ、期待される効果等	チェック欄			
25	教職員への 調査・アンケート 等をクラウドサービスを用いて 実施・集計 していますか。	汎用クラウドツール(例:フォーム、Forms)等を利用し、 教職員向けアンケートをデジタル化 することで印刷コストや印刷・配布・回収・集計にかかる時間が省け、教職員の負担軽減が期待できる。	完全にデジタル化している	一部している(半分以上)	一部している(半分未満)	全くしていない
会議で表示						
26	教職員から学校へ提出する事務手続き 資料 をクラウドサービスを用い、 受け付けて いますか。	休暇申請、出張申請、出張復命、テレワーク申請、副業申請等各種事務手続きの ペーパーレス化を徹底 することにより、セキュリティ強化につながるとともに、提出・集計・保存が格段に効率化し、教職員の負担軽減が期待できる。	完全にデジタル化している	一部受け付けている(半分以上)	一部受け付けている(半分未満)	全く受け付けていない
会議で表示						
27	学校から教職員に 紙で提出 を求めている 書類 はありますか。	ペーパーレス化を徹底することにより、セキュリティ強化につながるとともに、 提出・集計・保存が格段に効率化 し、教職員や管理職の負担軽減が期待できる。	ない		ある	
会議で表示						
27-2	(ある場合)紙での提出を求めている書類名を具体的に教えて下さい。(自由記述)	例:各種手当(通勤手当、住居手当等)に関する書類、給与支払口座登録書類等	通勤手当・住居手当・扶養手当・年末控除 給与支払口座登録等 指導案・校外学習届・自習計画など			
28	長期休暇期間(夏休み等)の教職員の 動静調査 をクラウドサービスを用いて 実施・管理 していますか。	汎用クラウドツール(例: 掲示板、カレンダーアプリ、グループチャット)等を活用することで印刷コストや印刷・配布・回収・集計にかかる時間が省け、教職員の負担軽減が期待できる。	用いている		用いていない	
会議で表示						
29	教職員は 校務用の個人メールアドレス が付与され、それを業務で利用していますか。	個々にメールアドレスを付与することは学校外では一般的。メールでのやりとりを学校代表アカウントなどにまとめると教頭など管理職の業務負担が不必要に増えたり、迅速な対応が困難となる。これらを回避することは働き方改革と業務の効率化に資することが期待できる。	付与されている		付与されていない	
会議で表示						

No.	質問項目	具体のイメージ、期待される効果等	チェック欄	
30	「FAXの利用が例外的に必要と考えられる業務」以外の日常の業務にFAXを使用していますか。	<p>その場に人がいないと対応できない通信手段であるFAXの慣行の見直しによりペーパーレス化を進めることで、教職員の柔軟な働き方の推進と校務の効率化が期待できる。</p> <p>※本チェックリストにおける「FAXの利用が例外的に必要と考えられる業務」とは、①危機管理に関する業務・手続、非常時対応に関する業務・手続、②民事裁判手続に関する業務・手続におけるFAXの利用を指す。</p>	使用していない	使用している
			会議で表示	
30-2	(使用している場合) FAXのやりとりの相手を教えてください。(複数選択可)		(選択肢:教育委員会/役所・役場/自校以外の学校/中体連/高体連/高文連/校長会/教頭会・副校長会/事務長会/PTA関連組織/教科等の研究団体/給食センター/民間事業者/その他)	
31	業務で押印が必要な書類はありますか。	押印の見直しによりペーパーレス化を進めることで、教職員の柔軟な働き方の推進が期待できる。	ない	ある
			会議で表示	
31-2	(ある場合) 押印が必要な書類を教えてください。(複数選択可)		(選択肢:通知表/各種参加・同意・承諾に関する書類(修学旅行・宿泊学習・部活動大会参加等)/各種調査に関する書類(進路希望調査・健康調査・児童環境調査等)/各種申請書(端末借用申請・携帯電話持ち込み申請・学校施設利用申請・就学援助申請・口座振替申請・スクールバス申請等))	
32	校務支援システムへ新入学児童生徒の名簿情報を登録する際の主な入力方法を教えてください。	校務支援システムへの新入学児童生徒の名簿情報の不必要な手入力作業を見直すことで、教職員の負担軽減と柔軟な働き方の推進につながる。	(選択肢:紙のデータを参照し、手入力している/デジタルデータを参照し、手入力している/デジタルデータを処理(データファイルをインポート又はテキストデータをコピーアンドペースト)して入力している/学校での入力は必要ない/校務支援システムを導入していない/その他)	

その他

No.	質問項目	具体のイメージ、期待される効果等	チェック欄			
33	1人1台端末のパスワードについて、教職員が把握し一括で管理するのではなく、 児童生徒に管理 を任せていますか。	1人1アカウントを割り当てられていることを踏まえれば自身の端末のパスワードは 本人が管理できる体制を整えることが必要 。1人1台端末のログインパスワードを児童生徒に管理させ、 パスワード等を忘れた際にも児童生徒自身で再設定を行う体制を整えること で教職員が情報を一括管理することによるセキュリティリスクや業務負担の軽減が期待できる。	児童生徒に任せている		教職員が管理している	
会議で表示						
34	学級・学校経営に有効な 教育データ 等が、 必要な職位に応じてアクセス権限が設定 されるとともに、活用しやすいように整理され、閲覧できますか。	学級経営や学校経営において有効な 教育データ (各種学力調査等のスタディログ、各種アンケート調査結果、スポーツテスト、児童生徒の出欠情報)が 整理 され、職位に応じて適切に アクセス権限が設定 されながら、データの閲覧が可能になることで、業務の適切な遂行と改善が期待できる。	できる		できない	
会議で表示						
35	「初等中等教育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドライン」に基づき 生成AIを校務で活用 していますか。	校務に生成AIを活用し、 長時間かかっていた作業 (教材やテスト問題、校外学習等の行程作成、研修資料、保護者向けお知らせ文書のたたき台)が 効率化 するなど、働き方改革につながることを期待できる。 【参考】「初等中等教育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドライン」(https://www.mext.go.jp/content/2-23-718mtx_syoto-2-----31167_-11.pdf)	ほぼ全員の教職員が活用している	一部の教職員が活用している(半分以上)	一部の教職員が活用している(半分未満)	全く活用していない
会議で表示						

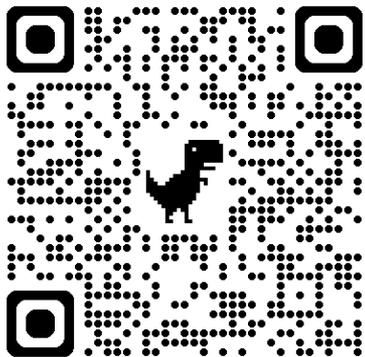
8

GIGAスクール構
想の下での校務
DXチェックリスト
～学校設置者の
自己採点結果

「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト（学校設置者向け）」 自治体別達成状況 〔確定値〕

各学校設置者の回答について、項目ごとの達成状況に応じて点数を割り振り、各項目で校務DXが最も達成されている状態を30点、計18項目540点満点で換算した。

- ✓ 各選択肢の配点は以下の通り。
 - 2 択の項目：0点、30点
 - 3 択の項目：0点、15点、30点
 - 4 択の項目：0点、10点、20点、30点
- ✓ 今回の調査結果は各教育委員会が文部科学省WEB調査システム“EduSurvey”に入力した自己点検結果を単純に集計したもの。各回答項目の選択肢を選ぶに当たっての判断は各教育委員会に任されており、文部科学省では回答の精度を確認する等のデータクリーニングは行っていない。そのため大まかな傾向はつかめるものの、自治体間の結果を単純比較できるものではない。こうしたことを前提に、各自治体においては、本調査の結果を単純比較に用いるのではなく、校務DXの改善に活かすツールとして利活用いただきたい。
- ✓ 本資料は令和6年2月28日正午までに“EduSurvey”に入力されたデータを元に集計を行っている。



会議で表示

教育委員会所管の業務のデジタル化

No.	質問項目	具体のイメージ、期待される効果等	チェック欄			
1	教育委員会主催の研修をハイブリッド(対面・オンライン)で実施していますか。	オンライン参加可能とすることで、場所を選ばず参加が可能となり、教職員の働き方改革につながる事が期待できる。	完全にハイブリッド化している	一部している(半分以上)	一部している(半分未満)	全くしていない
会議で表示						
2	教育委員会主催の研修について、オンデマンド視聴を取り入れていますか。	研修動画のアーカイブ化により時間・場所を選ばず受講が可能となり、研修の参加率及び研修効果が向上するとともに、教職員の働き方改革につながる事が期待できる。	取り入れている		取り入れていない	
会議で表示						
3	教育委員会主催の研修で端末利用・持ち込みを基本とし、クラウドサービスを活用していますか。	Wi-Fi環境がある会場において、端末利用・持ち込みを基本とした研修を実施し、研修中に疑問点を調べたり、メモを取ったりすることに加え、意見交換に汎用クラウドツール(例:チャット、付箋ソフト)等や共同編集機能等を活用することにより、児童生徒の学びと相似形の研修を実現することが可能となり、研修の参加率及び研修効果の向上が期待できる。	活用している		活用していない	
会議で表示						
4	教育委員会主催の研修について、資料をクラウド上にアップロードしいつでも参照できる環境としていますか。	研修資料のアーカイブ化により時間・場所を選ばず参照が可能となり、研修の参加率及び研修効果が向上するとともに働き方改革につながる事が期待できる。	全て参照できる環境としている	一部している(半分以上)	一部している(半分未満)	全くしていない
会議で表示						

教育委員会所管の業務のデジタル化

No.	質問項目	具体のイメージ、期待される効果等	チェック欄			
5	教育委員会主催の 研修アンケート 等をクラウドサービスを用いて 実施・集計 していますか。	汎用クラウドツール(例:フォーム、Forms)等を利用し、研修アンケートをデジタル化することで印刷コストや印刷・配布・回収・集計にかかる時間が省かれるとともに、 リアルタイム集計 や 他者参照 により、作業の効率化及び研修効果の向上が期待できる。	完全にデジタル化している	一部している(半分以上)	一部している(半分未満)	全くしていない
			会議で表示			
6	学校との各種事務手続きを ペーパーレス化 していますか。	休暇申請、出張申請、出張復命、テレワーク申請、副業申請等各種 事務手続きのペーパーレス化 を徹底することにより、セキュリティ強化につながるとともに、提出・集計・保存が格段に効率化し、教職員の負担軽減が期待できる。	完全にペーパーレス化している	一部している(半分以上)	一部している(半分未満)	全くしていない
			会議で表示			
7	「FAXの利用が例外的に必要と考えられる業務」以外の学校との日常のやりとりに FAX を使用していますか。	その場に人がいないと対応できない 通信手段であるFAXの慣行の見直し によりペーパーレス化を進めることで、教職員の柔軟な働き方の推進と校務の効率化が期待できる。 ※本チェックリストにおける「FAXの利用が例外的に必要と考えられる業務」とは、①危機管理に関する業務・手続、非常時対応に関する業務・手続、②民事裁判手続に関する業務・手続におけるFAXの利用を指す。	使用していない		使用している	
			会議で表示			
8	学校で取り扱う書類で、教育委員会から 押印 を求めている書類はありますか。	押印の見直しにより ペーパーレス化 を進めることで、教職員の柔軟な働き方の推進と校務の効率化が期待できる。	ない		ある	
			会議で表示			

教育委員会所管の業務のデジタル化

No.	質問項目	具体のイメージ、期待される効果等	チェック欄			
9	教育委員会が学校に発信する 通知や調査 をクラウドサービスを用いて 共有、実施、集計 していますか。	学校宛の通知等の発出に汎用クラウドツール等を活用することにより学校への 情報共有が確実化 し、印刷コストや教職員が学校内で印刷・配布する手間が省ける上、 調査をデジタル化 することで教職員による回答・提出にかかる時間も省け、教職員の負担軽減が期待できる。	完全にデジタル化している	一部している(半分以上)	一部している(半分未満)	全くしていない
会議で表示						
10	教育委員会から学校及び教職員への お知らせや相互の情報共有等 をクラウドサービスを用いて行っていますか。	汎用クラウドツール等を活用して学校や教職員への お知らせの一斉配信 や教育委員会と学校間の情報共有を行うことにより、教職員との 情報共有が迅速化且つ円滑化 する上、印刷コストや教職員が印刷・配布にかける時間も省け、教職員の負担軽減が期待できる。	完全にデジタル化している	一部している(半分以上)	一部している(半分未満)	全くしていない
会議で表示						
11	教育委員会の指導主事に GIGA端末を支給 していますか。	指導主事も学校現場の教職員と同じGIGA端末を持つことにより、GIGA端末を活用した授業について指導助言しやすくなる ことが期待 できる。	支給されている		支給されていない	
会議で表示						
12	教育委員会に 学校と同様のクラウド環境を整備 していますか。	学校との連絡や業務のやりとりにおいて、学校内での業務同様に、 チャットやwebアンケートフォームなどの汎用クラウドツール等が利用できる ことにより、学校及び教育委員会での働き方改革と業務の効率化が期待できる。	整備されている		整備されていない	
会議で表示						

教育委員会所管の業務のデジタル化

No.	質問項目	具体のイメージ、期待される効果等	チェック欄	
13	教職員に外部ともやり取り可能な校務用の個人メールアドレスを付与していますか。	個々にメールアドレスを付与することは学校外では一般的。メールでのやりとりを学校代表アカウントなどにまとめると教頭など管理職の業務負担が不必要に増えたり、迅速な対応が困難となる。これらを回避することは働き方改革と業務の効率化に資することが期待できる。	付与している	付与していない
			会議で表示	
14	教職員が校務用の端末を学校外において使用できるクラウド環境を整えていますか。	セキュリティ対策を前提として、学校外において校務用の端末をクラウド環境で使用できるようにすることで、校務のロケーションフリー化により、働き方の選択肢を増やし、安全かつ働きやすい環境を実現することが期待できる。	整えている	整えていない
			会議で表示	
15	クラウド環境を学校外で使用した際の適切な勤怠管理・勤務時間管理の仕組みを整えていますか。	アクセスログ管理等の仕組みにより実際の労働時間を正確に把握することで、校務のロケーションフリー化と適切な労務管理が可能となり、業務効率化と教職員の健康管理の両立が期待できる。	整えている	整えていない
			会議で表示	
16	新入学児童生徒の名簿情報の学校への提供方法を教えてください。(複数選択可)	新入学児童生徒の名簿情報の学校への提供方法を見直し、学校における校務支援システムへの当該名簿情報の不必要な手入力作業が不要となることで、教職員の負担軽減と柔軟な働き方の推進につながる。	(選択肢:紙で提供している/デジタルデータで処理(データファイルをインポート又はテキストデータをコピーアンドペースト)不可の電子ファイルで提供している/デジタルデータで処理(データファイルをインポート又はテキストデータをコピーアンドペースト)可能な電子ファイルで提供している/校務支援システム上で提供している(教育委員会がまとめて校務支援システムに入力するなど))	
			(選択肢:慣例であるため/外字に対応する必要があるため/その他)	
16-2	(紙で提供している、デジタルデータで処理(データファイルをインポート又はテキストデータをコピーアンドペースト)不可の電子ファイルで提供している場合)			

次世代校務DX環境の整備

No.	質問項目	具体のイメージ、期待される効果等	チェック欄			
17	統合型校務支援システムを導入していますか。	<p>統合型校務支援システムを導入することで、働き方改革と業務の効率化が期待できる。</p> <p>※「統合型校務支援システム」とは、教務系(成績処理、出欠管理、時数管理等)、保健系(健康診断票、保健室来室管理等)、学籍系(指導要録等)、学校事務系などを統合した機能を有しているシステムのこと</p>	導入している		導入していない	
会議で表示						
18	校務支援システムの導入又は次期更改において、ネットワーク統合と汎用クラウドツールの活用を前提とした、パブリッククラウド上で運用できる次世代型校務支援システムの導入を検討していますか。	<p>ネットワーク統合と汎用クラウドツールの活用を前提とした、パブリッククラウド上で運用できる校務支援システムを導入することにより、校務クラウド化、教育データ連携、レジリエンスの向上が実現され、教職員の働き方改革と教育の質の高度化につながる。</p> <p>【参考】「GIGAスクール構想の下での校務DXについて～教職員の働きやすさと教育活動の一層の高度化を目指して～」 (https://www.mext.go.jp/content/20230308-mxt_jogai01-000027984_001.pdf)</p>	導入済み	具体的な導入時期を設定している	導入時期は未定だが検討している	検討していない
会議で表示						

No.	質問項目	具体のイメージ、期待される効果等	チェック欄			
19	自治体の文書管理規程等で、教育に関わる 公文書のデジタル化 に関する規程を定めていますか。	指導要録、出席簿、健康診断票等の各種公文書や台帳等における デジタル化に関する規程 を自治体で定めることで、デジタル化の推進を図ることができるとともに、適切な文書管理を行うことが期待できる。	定めている		定めていない	
会議で表示						
20	学校や教職員からフィルタリングに関する要望があったときに 柔軟に反映する仕組みや体制 を整えていますか。(学校に、一部フィルタリング設定の裁量権を与えている場合も含む)	現場の要望に柔軟に対応できる体制を整えることで、GIGA端末(児童生徒用・指導用)から必要な情報が掲載されているwebページや動画サイトにアクセスできないなどの 過度なフィルタリングを防ぎ、適切な水準のフィルタリング設定 を行え、GIGA端末を活用した円滑な学習機会の提供が期待できる。	整えている		整えていない	
会議で表示						
21	自治体のセキュリティポリシーとは別に、 教育情報セキュリティポリシーを教育委員会独自に策定 していますか。	教育現場特有の事情を踏まえた情報資産の守り方等を定める教育情報セキュリティポリシーを自治体の情報セキュリティポリシーとは 別に定める必要 がある。教育情報セキュリティポリシーに基づいて、クラウド活用を前提としたGIGAスクール構想に相応しいセキュリティレベルを確保することにより、 データ利活用や個別最適な学び等、新たな時代に相応しい教育DXの基盤を構築 することが期待できる。	策定している	策定していないが自治体ポリシーを準用している	策定していない	
会議で表示						
21-2	(策定していない、策定していないが自治体ポリシーを準用の場合)今後、教育情報セキュリティポリシーを教育委員会独自に策定する予定はありますか。		今年度中に策定予定	教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」の次回改訂時に合わせて策定予定	来年度以降に策定予定	策定する予定はない
会議で表示						
21-3	(策定していない、策定していないが自治体ポリシーを準用の場合)教育情報セキュリティポリシー策定を妨げている要因を教えてください。(複数選択可)		(選択肢:独自策定する必要性を感じていない/独自策定するための知識・経験が不足/独自策定を外部委託するための予算化に課題/ポリシーだけでなく実施手順の策定も難しい/「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」の解釈が難しい/独自策定のための人的余裕がない/その他)			